

今回は、「家族にやさしいバリアフリー」についてのお話です。

家族みんなが安心・安全に過ごせるよう住まいの中の障害を取り除くことが大事です。今回はおじいちゃん・おばあちゃんにもやさしいバリアフリーリフォームについてのお話です。

【バリアフリーリフォームのポイント】

住まいのバリアフリーについて部位別にポイントをまとめました。

階段



階段手すりは両側に付けるのが望ましいが、片側のみの場合は降りる時の利き手側に設置。

足元灯があると安心。

寝室、トイレ、浴室など玄関と同じ1階に配置するのが理想的。

玄関



上がり框を昇降しやすい位置に手すりを設置。滑りにくい床材に変更。

手すりは下地材にしっかりと固定。下地材のない所には下地等の補強をする。

浴室



出入り口の段差解消、滑りにくい床材への変更、移動や立ち座り、姿勢保持に必要な手すりの設置。

浴室・洗面、トイレの暖房も考慮する。

トイレ



和式から腰掛け便器に。段差解消、手すりの設置。

寝室、トイレ、浴室など出入り口は引き戸が理想的。

アプローチ



アプローチに手すりの設置。スペースがあればスロープも検討。

寝室



使いやすい高さに引き手を付ける。ドアノブをレバーに取替え。

【施工例】



施工前

↑トイレでの車椅子利用は段差だけでなくドア開閉も障害に。



施工後

「2枚連動引き戸」を造作して設置 65cmだった開口スペースが75cmに広がりました。

←トイレは、広い介助スペースが確保され、肘掛手すりで立ち座りも楽に。引き戸の引き手や照明スイッチの高さもご本人の使いやすい高さに設置しました。(H様邸)



廊下の床を重ね張りしました。日中過ごされる茶の間から廊下、寝室、トイレとバリアフリーになりました。(T様邸)



↑廊下と洗面・脱衣所と浴室の床は段差が解消されました。引き戸なので出入りもラクラクです。(K様邸)



←玄関からアプローチへ続く手すり。(W様邸)

お気軽にお問い合わせ下さい！

0120-312-341



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部